

## みやぎ生協 クミココンサートを開催

### 震災1年を迎えたイベントとして

みやぎ生協は震災復興企画のひとつとして、3月6日、仙台市泉区イズミティ21大ホールで、歌手・クミコさんのコンサートを開催しました。クミコさんは、2011年3月11日に「こ～ぷ文化鑑賞会石巻例会」に出演するために訪れていた石巻市で被災。その後6月より、宮城県内での支援活動として、ライブ出演を続けてきました。今回のコンサートは、日本生協連の助成金を受け、震災から1年を経て実現したもので、一般のメンバー（組合員）と共に、当時の文化鑑賞会石巻会員の皆さんも多数参加されました。

開場時刻の14時30分を前に、会場のイズミティ21の前には長蛇の列。石巻、気仙沼、岩沼、亘理など被害の大きかった地域からは、無料送迎バスが用意され、前回公演が中止となった石巻からも、約130人の方々がバスでイズミティにやって来られたそうです。

冒頭、会場全体で亡くなられた方への黙とうを行い、「絆とともに響く歌声から、明日への、復興への思いを確かめ合いたい」というみやぎ生協理事長の齋藤昭子さんのあいさつでコンサートが開演しました。オレンジ色のドレスでクミコさんが登場すると、坂本九さんの名曲『上を向いて歩こう』をピアノの伴奏によるバラードアレンジで。ワンコーラス歌い切るとパーカッションなどが入りテンポアップ。会場の雰囲気を一変させると、客席から大きな拍手。バックバンドはピアノ、バイオリン、ベース、パーカッションの4人がいました。



多くの人が会場につめかけ、コンサートを楽しんだ。

1曲歌い終わると「やっとお会いすることができました」というあいさつがクミコさんよりありました。

「私は、初めて訪れた石巻という場所で千年に一度と呼ばれる震災に遭遇しました。あの日、あの場所になぜ自分いたのか——を考え続けた1年でした。自分にできることはないのではないかという無力感に襲われ、被災から2カ月は笑い方が分からなくなりました」と心情を吐露。

被災から3カ月がたった6月11日。石巻にあるみやぎ生協蛇田店でのライブに出演したクミコさん。そこで、被災された方々に温かく迎えてもらうことで、「歌ってもいいんだ」思えるようになったのだそうです。

オリジナル曲『わたしは青空』から『百万本のバラ』『愛の讃歌』と愛の歌を続け、この日着ていたオレンジのドレスにまつわるエピソードを話します。

「このドレスは3着目。ずっと着てきたものは震災で水に浸かってしまったんです。でも、ドレスのオレンジ色は震災の記憶と強く結びつきました。3月11日に避難した採石場で作業

員の方々が作ってくださったたき火の色。一緒に避難した人が暖をとり、翌日の行動のための活力を取り戻したという意味では、命の色であると感じたんです。それにレスキュー隊の方々もみなさんオレンジ色の服をきているでしょう？」

そうした思いから、クミコさんはオレンジ色のドレスを作り直し、着続けなければいけないと考えたのだそうです。

### 心にしみる歌の数々を熱唱

続いて、歌う気持ちになれなかったクミコさんが、震災後初めて人前で歌った『ともだち』(詞/永六輔 唄/坂本九)、広島・長崎で犠牲になった方々の思いを歌った『祈り』ほか2曲を熱唱。曲間でそでに消えると、今度は赤いドレスを着て登場。

さらに、この日の朝、石巻の日和山公園で出会った男性との話を挟み、オリジナルのシャンソン『わが麗しき恋物語』、『今日までそして明日から』(詞・曲/吉田拓郎)を披露。2曲を歌い終わると、石巻の楽器店の社長さんとの出会い、そして社長さんの手によって津波の被害から再生を果たした『再生ピアノ』が生まれるまでのエピソード。そして最後の曲、下積み時代に自らを奮い立たせた曲『幽霊』でいったん幕が下がりました。

アンコールを求め、拍手は鳴り止みません。再び幕が上がり、越路吹雪さんが歌った名曲『ラストダンスは私に』を力強く歌うと会場の熱気は最高潮に。公演メンバー紹介を経て、3月11日の夜の体験を歌った新曲『きっとツナガル』へ。そして最後に、200人の石巻の方々と一緒に歌った『再生ピアノ“石巻の皆さんとヴァージョン”』の伴奏をかけ、その曲が流れる中、クミコさんは舞台から客席に降り、来場者の皆さんとふれあい、エンディングを迎えました。

この日の夜は、テレビ番組の生出演があるため握手会は15分程度となりましたが、CDを購入した熱心なファンの方々は感想を伝え、固く手を握りあっていました。

名取市の閑上で被災し、現在仮設住宅で暮らす組合員は、「歌の1つひとつが心に染みしました。最後の『きっとツナガル』という歌も、覚えやすい歌で、子どもと一緒にCDを買って覚えようねって話していました。震災後、こうしたコンサートなどに来るのは2回目です。家にこもりがちになってしまうというので、こういう催しはありがたいです。生協で活動していたことで、こういう機会がいただけ、恵まれているなと思っています。音楽を聞いたりするのは好きなほうなので、また来てみたいなと思っています」と、感激した表情で話していました。



ファンと固く手を握りあうクミコさん。